

特定農薬及び撒粉ボルドーのいもち病に対する効果

福島県農業総合センター 生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

水稻 - 水稻 - 病害虫防除
分類コード 01-01-23000000

2 担当者

皆川博孝・山田真孝

3 要旨

いもち病に対して、食酢、重曹の茎葉散布は防除効果が極めて低く、実用性は無いと考えられた。葉いもちに対する撒粉ボルドーの防除では予防効果が認められた。

- (1) ポットで生育させた水稻に、食酢は50倍液または200倍液で、重曹は0.1%濃度で、撒粉ボルドーはそのまま散布し、乾いてからいもち病菌を接種した。食酢、重曹は効果がほとんどなく、発病を助長する場合もあった。撒粉ボルドーは効果が認められた。
- (2) ポットで生育させた水稻にいもち病菌を接種し、1日後に食酢を50倍液または200倍液で、重曹を0.1%濃度で、撒粉ボルドーはそのまま散布した。食酢、重曹、撒粉ボルドーは効果がなかった。
- (3) ほ場で穂いもちを対象に食酢200倍液を穂孕期、穂揃期に2回散布したが、効果がなかった。

4 その他の資料等

なし